

G 授 業 プ ラ ン

作成担当 【 木村 光伸 】(小・中)

授業日時	H21. 11. 27(金)1校時 9:30 ~ 10:20		会場校	三ヶ所中	学年	2年
バス 配車	行き	時刻 8:30	場所 鞍岡中→三ヶ所中		生徒数	35人
	帰り	時刻 10:30	場所 三ヶ所中→鞍岡中		教科等	理科
単元名	教科名 [ 理科 ] 単元名 [ 大気中の水 ]		本時/全時数	1/6		
授業会場 授業者	美術室：木村 光伸 (鞍岡中), 倉永 愛子 (三ヶ所中)					
単元の目標と最適人数	<p>○ 本単元では身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いださせるとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深めることを主なねらいとしている。本時では、気象要素の一つである「雲」についての学習を通して、生徒が主体的に取り組む授業をめざした。</p> <p>授業における最適人数については、班の中で意見交換やグルーピングの工夫を通して、課題解決に迫るために大人数(L)での授業形態を選択した。まず始めにクラスを3人×12班に分け、各グループに資料を配付し、その資料について各班で理解させる。そして、再度グルーピングを行い、各グループで理解した内容を説明し合い、資料を組み合わせることで課題解決に迫る。</p>					
本時の目標	○ 資料を読み込み、組み合わせることで「雲のでき方」が理解できるようになる。					
指導型	○ 生徒が主体的に学習できるように、協調学習のジグソー法を活用し、班活動を中心とした教え合い学習ができるように設定した。					
B-活用						
時刻	授業の流れ		形態・場所	支援と評価		
9:30	1 天気に関するアンケート集計結果を発表する。		L 美術室	○ 本時に係わる内容の話をすることで、学習に対する意識を高める。		
9:35	2 本時の目標を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どのようにして雲はできるのだろうか</div>			○ ワークシートを準備し、本時の目標に対する予想を書かせる。 ※ 個人で考えさせ、課題に関する概念を書かせる。		
9:40	3 各班に配られた資料1, 2, 3について各自で読み込み、班で話し合いながら理解する。 ・資料にアンダーライン等をひく。 ・資料が理解できるように班で協力する。			○ 資料を理解する時間を十分にとるように配慮する。		
9:55	4 A~Lの班(12班)に再編成し、各班で資料を説明して、本時の目標について話し合い、各班で考えをまとめる。			○ 班の再編成後は、その資料を知っているのは自分一人であることを確実に理解させる。		
10:10	5 各班で予想した資料の順番を黒板に貼る。 ・3つの資料を、どの順番で組み合わせたら			○ 3つの資料を組み合わせ、質問(本時の目標)の答えを出すように支援する。		
10:17	6 急激に気圧を下げることで、水蒸気が水滴になる演示実験を見せる。			○ 一人一人、自分が本当に納得した答えが出せるように支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3つの資料の組み合わせの順番を導き出せたか。</div>		
10:19	7 自己評価			○ 資料2の内容を実際に実験して見せることで、概念の定着を図る。		
○ 成果・課題						